

■陸奥宗光 外交官、政治家。条約改正や<日清戦争>の講和会議などに活躍、思想示す記録「蹇蹇録」を遺した。

むつむねみつ

天保改革終・1844＝ 和歌山藩大番頭格を務め、「大勢三転考」を著した伊達宗広の第六子に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 1歳：

ペリー来航・1853＝ 9歳： 藩内の抗争で父、兄とも追放となり、一家をあげて流浪の生活。

五ヶ国条約・1858＝14歳： 江戸に出て苦学。

桜田門外変・1860＝16歳：

生麦事件・ 1862＝18歳： 父が赦免ののち脱藩し、一家で京都に上る。

8月18日政変 1863＝19歳： 坂本竜馬を知る。神戸の勝海舟の海軍操練所にまなぶ。

大政奉還・ 1867＝23歳： 奥陽之助と称し、坂本竜馬のひきいる海援隊の一員として活躍。

明治維新・ 1868＝24歳： この年、結婚。維新後政府に出仕。外国事務局御用掛。

戊辰戦争終・1869＝25歳： 兵庫県知事。

初の日刊新聞1870＝26歳： 和歌山藩欧州執事としてヨーロッパに出張。

廃藩置県・ 1871＝27歳： 神奈川知事。

学問のすすめ1872＝28歳： 租税頭を経て、

明治6年政変 1873＝29歳： 大蔵少輔心得となるが、

佐賀の乱・ 1874＝30歳： 薩長の専制を憤って辞任。

初の民間工場1875＝31歳： 元老院議員となる。

大久保暗殺・1878＝34歳： 立志社の政府転覆計画に荷担したとして投獄され、

・・・・・・1880＝36歳：

明治14年政変1881＝37歳：

獄中で、ベンサム「道徳および立法の諸原理」を「利学正宗」として翻訳。

岩倉具視没・1883＝39歳： 特赦により出獄。「利学正宗」を刊行。

秩父事件・ 1884＝40歳： この年、母死去。外遊してL. vonシュタインに国家学を学ぶ。

帝国大学始・1886＝42歳： 帰国後外務省に出仕。

初の対等条約1888＝44歳： 駐米公使となりメキシコとの対等条約(日墨通商修好条約)とアメリカとの新条約調印を果たした。

帝国憲法発布1889＝45歳：

帝国議会始・1890＝46歳： 帰朝して第1次山県有朋内閣に入閣して農商務大臣となり、第1回総選挙に立候補し当選。

足尾鉾毒始・1891＝47歳： 松方正義内閣に留任し、内閣規約を提案、みづから政務部長となったが薩摩派との衝突で辞任した。後藤象二郎や大江卓、岡崎邦輔の協力をえて日刊新聞「寸鉄」を発刊して薩摩閥を攻撃し、松方内閣を批判。

大本教・ 1892＝48歳： 辞職して枢密顧問官となる。第2次伊藤博文内閣が成立すると迎えられて外務大臣となり、長年の懸案であった対等条約実現を期す。千島艦事件をめぐる領事裁判問題、防毅令事件をめぐる朝鮮との賠償交渉、議会における条約励行建議案にみられる排外気運の高揚などのなかでイギリスに新条約案を提示、条約改正会談を開始した。

日清戦争始・1894＝50歳： 朝鮮国に甲午農民戦争がはじまると清国の出兵に対抗して派兵し、日英通商航海条約の調印に成功した。一方、朝鮮では積極政策を展開し、朝鮮王宮占拠による親日政権の樹立、豊島沖海戦により日清戦争を開始した。この開戦外交はイギリスとの協調を維持しつつ、対清強硬路線をすすめる川上操六参謀次長の戦略と気脈を通じたもので「陸奥外交」の名を生んだ。日清戦争後薩摩派を中心とする膨張主義とそれに賛同した世論の圧力で下関条約で遼東半島を割取し、三国干渉を招いた。試験採用による職業外交官の制度が確立したのは陸奥の外相時代である。

日清戦争終・1895＝51歳： 軍に制約された日清戦争の外交を詳記した「蹇蹇録」を持疾の肺患とたたかいつつ脱稿したが、長く公刊を許されなかった。

白馬会・ 1896＝52歳： 外相辞任。ハワイで療養、竹越与三郎をして雑誌{世界之日本}を発行せしめ、それに寄稿をつづけて、

八幡製鉄始・1897＝53歳： 没した。